

県交通安全施設工事業協会総会

新会長に
今別府氏
技術力強化で地域貢献

県交通安全施設工事業協会(重吉孝二会長)は16日、鹿児島市のホテルレクストン鹿児島で21年度総会を開いた。内部組



新年度事業計画等を決めた総会
＝鹿児島市のホテルレクストン鹿児島で

織の充実や技術力強化、地域貢献などを盛り込んだ新年度事業計画を決めたほか、任期満了に伴う役員改選では新会長に今別府英樹氏(今別府産業(株))を選出した。

議事では、20年度事業・会計報告、21年度事業計画・予算案などを審議した結果、全会一致で可決承認。副会長、専務理事などの役員は後日、互選により決定する。

新年度事業計画には、①内部組織の充実強化②交通安全施設事業の拡大③技術向上のための講習会・研修会開催④災害防止対策の推進⑤ボランティア活動の実施などを掲げた。



今別府英樹新会長

スーパースチーム調理講習会

実演で製品をPR

マルゼン

厨房機器専門メーカーの(株)マルゼン鹿児島営業所(霜出祐一所长)が主催する「スーパースチーム調理講習会」が16日、鹿児島市のアイムビル「eキッチンスタジオ」で開かれ、スチームコンベクションの基礎知識から新調理システムまでの実演を通して製品のPRを行った。写真。



加。主力製品の「スーパースチーム」を使った五目玉子焼きやナポリタンの調理に見入っていた。講習会では、同社専任インストラクターの西岡忠昭氏が講師を務め、「温度が等しい調理メニュー同士では同時に調理ができる」などとアドバイスしていた。さらに各現場に応じた同製品の使い方や真空包装機を使用する活用方法などを分かりやすく紹介した。参加者らは今後の業務の参考にしようとする意気込みで、熱心に聞き入っていた。

会長を3期6年務めた重吉氏は、「これまで会長を務められたのも、会員の協力のおかげ。感謝しています」と挨拶。また、今別府新会長は「専門工事業としてさらに技術力を高め、地域社会に貢献できる協会づくりに努めていきたい」と抱負を語った。新役員等は次の通り。

【新役員】
会長 今別府英樹(今別府産業(株))
副会長 木場健弘(日本乾溜工業(株))
堂園芳朗(ロードエンタープライズ(株))
前田進(進和総業(株))
上

【新入会員】
(株)ナンワ工業 九州特
殊土木工業(株)

原徳正(鹿児島道路サービス(株))
重吉孝二(キョーエイエステック(株))
上
園勉(株)カーネギー産業
牧祐一(株)大隅機工
安
楽正録(株)新栄



場所は、JR指宿・枕崎線の谷山駅。地元住民からの要望を受けて同社が19年から清掃整備をボランティアで実施している。今回も、構内の花壇やターミナル周辺を中心に、ごみの回収や雑草の刈り取り作業を行った。

作業には約10人の社員が参加。同駅の利用者らが行き交う中、ビニール袋を手に、周辺のごみ、空き缶拾いや花壇の雑草除去などを行った。半日かけた作業で駅構内は見違えるようにきれいになった。

情報はこちらへ

本紙では、企業や団体等の地域貢献活動を掲載しています。作業風景の写真や作業内容等を記入し企画部まで情報をお寄せください。新聞掲載は無料です。
E-mail:kikaku@po.kc-news.co.jp

鹿児島建設新聞

新鴨池公園プール安全祈願祭

国内有数の施設に

園水泳プール整備・運営事業・新築の安全祈願祭が16日、同市鴨池2丁目の現地であった。23年4月の供用を目指し、関係者が無事故での完成を祈った。

祈願祭では、刈初めの儀を森博幸市長、納入の儀を上門秀彦市議会議長と馬場崎社長、穿初めの儀を大石宏和奥村組九州支店長がそれぞれ実施。関係者が神前に玉ぐしを捧げ、工期内の無事完成を祈願した。

森市長は「可動床を採用し2000席の観客席を有する最新技術を導入

際公認も取得予定で、これから世界を目指す選手が巣立つことを願っています」と挨拶。

馬場崎社長は「利用者が満足できる施設造りと運営を目指したい」と述べたほか、大石支店長は

「これまでのノウハウを注ぎ、無事故無災害での完成を誓います」と意気込みを語った。

(株)スイムシテイ鹿児島は、九電工、奥村組、南日本総合サービス、菱熱、セिकासポーツセンター、新生組、梓設計、富士ビル・エスが出資したSPC(特別目的会社)。

代表企業は九電工。設計・監理は梓設計と東条設計、建設は

組と福田組、新生組、富士ビル・エス建設資材、設備は九電工と菱熱が担当する。

運営企業は、セिकासポーツセンターとヤマハ発動機。維持管理企業は、南日本総合サービス、九電工ファシリティーズ鹿児島。プロジェクトマネジメント企業は、九州電力となっている。

建物規模は、RC造屋根S造地上3階地下1階建延べ1万78㎡。屋内50mプール(国際公認・10コース)、屋外飛込プール(国際公認)、屋内25mプール(国内公認、市

地域貢献活動

個人。団体名等を示したサインボードの設置や活動中の事故に備えた傷害保険料の助成(市町村で実施している奉仕活動中の事故を対象とする保険など、既に加入している保険がある場合は、それらを優先)などの支援を行う。

古田元秀専務取締役は「今まで社会貢献活動の一環として、独自の道路清掃活動を年4、5回実施してきた。今回の認証を機に、新たにボランティア環境活動部を設け、より一層地域に貢献していきたい」と語った。

～ 内村産業 ～

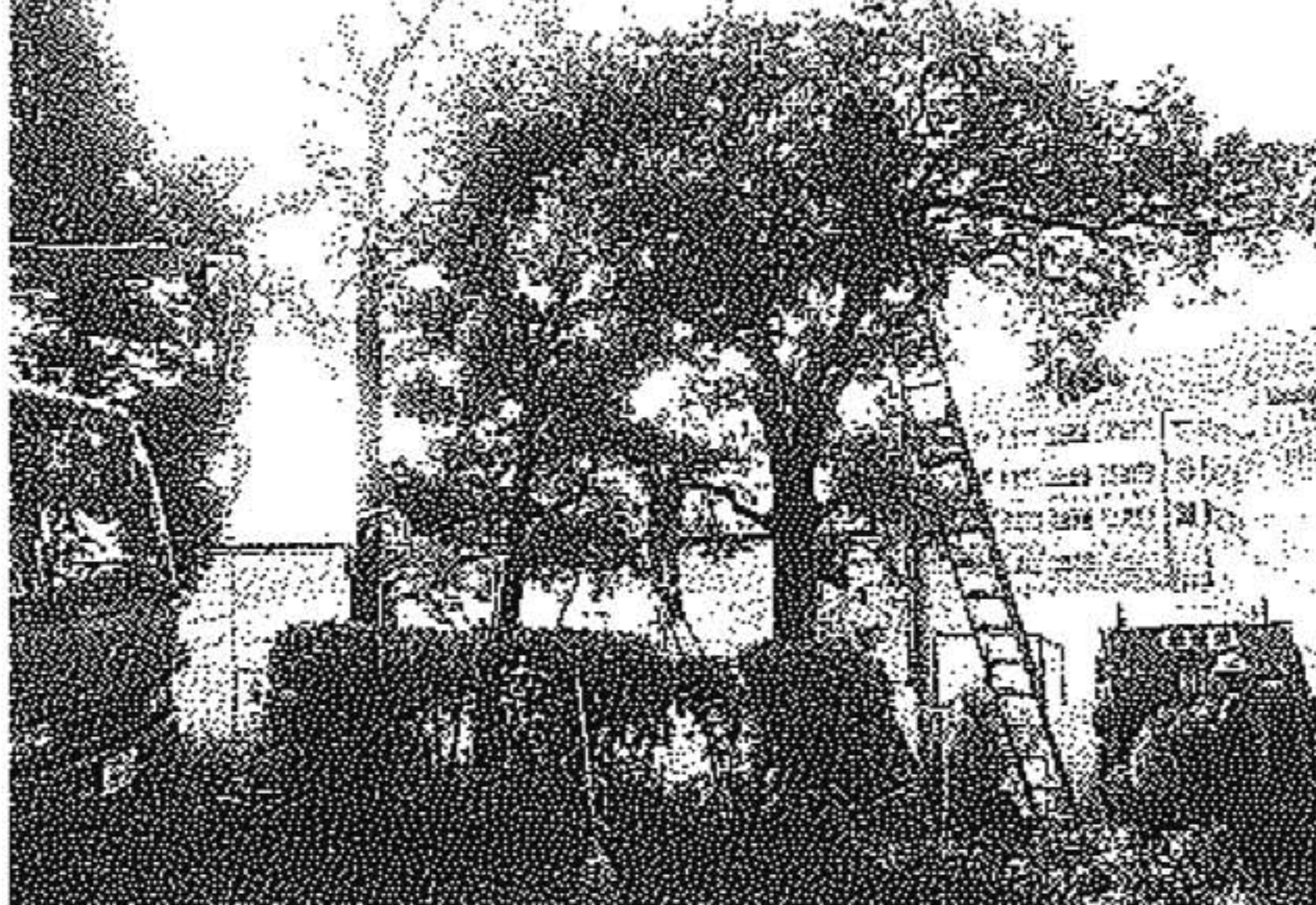
福平中で樹木剪定

(株)内村産業(内村孝幸社長)は3日と11日、鹿児島市の福平中学校の樹木剪定などの奉仕活動を実施した。写真。

今回の活動は、社員の9割が同校の卒業生ということもあり、少しでも後輩のために、また地域のためになればとの思いから実施

した。

作業は入学式前と新年度を迎えた岡土曜日に行われ、体育館前の枯れ木の撤去や憩いの森の低木・高木の剪定などに取り組んだ。



剪定作業は高所作業車やパッカー車などの重機を使って実施。恒例となった作業に、生徒や学校関係者から感謝された。

～ 大保建設 ～

谷山駅周辺を清掃

(株)大保建設(徳永紀雄社長)は11日、鹿児島市のJR谷山駅周辺の清掃作業をボランティアで実施した。写真。

～ 古田建設 ～

「ふるさとの道サポーター」認証



(株)古田建設(古田秀則社長、西之表市)は13日、県熊毛支庁建設部から「ふるさとの道サポーター」の認証を受けた。写真。同社では毎年継続的に道路清掃のボランティア活動を実施している。

県は、地域住民等による県管理道路の清掃美化活動を推進するため、美化活動に取り組むボランティア団体等に「ふるさとの道サポーター」の認証を行い、活動を支援。

対象となるのは、県管理道路の一定区間(100m以上)において、日常的な管理を行うとともに、年2回以上の定期的な草刈りや花壇・植栽帯の手入れ等を行う団体や